



猛暑の中、夏休みが始まりました。今年は早くも各地で「災害級の暑さ」が観測され、熱中症を避けてか、日中は屋外で人の姿を見かけることも少ないように感じます。一方で、涼を求めて出かけた海や川、山での事故も多く聞かれます。皆さん、体調管理に努めて無理なく安全に夏をお楽しみください。

楽寿園の小浜池が満水になるなど「水の都・三島」がますます注目を集めています。市では、市内を流れる河川や湧水スポットの水位や流量、水質など水に関するデータを33か所に設置するセンサーやカメラで収集・蓄積する「水環境デジタル監視システム」を構築し、三島が誇る豊かな水環境を市内外にPRする仕組みとして運用しています。このシステムは台風や大雨などの災害時には河川状況の確認や蓄積していたデータなどをAIが分析し水位の予測を行い、緊急避難に繋げるなど市民の安全安心を守るとともに、蓄積されたデータを防災関係団体とも共有し災害対策に役立てています。デジタルを活用し市民生活の質の向上を目指す取組みの一つです。

8月15日から17日まで「三嶋大祭り」が開催されます。今年には日本・中国・韓国の3ヶ国間の国際交流を目的とした『東アジア文化都市2023静岡県』の地地域連携プログラムの認証を取得し、これまで以上に三島の歴史・文化・伝統を世界に向けて発信してまいります。祭りの詳細は、広報みしま8月1日号をご覧ください。

三島市長 豊岡 武士

第37回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会 名水サミット in みしま・しみず ～富士山の湧水の恵み～

「昭和の名水百選」「平成の名水百選」に選ばれた全国の市町村による名水サミットが、本年度は三島市と清水町の共催で開催されます。「命をつなぐ・街をつなぐ・次世代につなぐ ～富士山の湧水の恵み～」をテーマに、源兵衛川・柿田川の環境保全の取り組みを発表する他、富士の名水にゆかりのある3人の魅力的な講師を迎えての講演、三島市長・清水町長に富士宮市長も交えて「湧水を活用したまちづくり」についてパネルディスカッションを行い、改めて水辺環境を保全することの意義を考えます。

【名水シンポジウム】8月18日(金) 三島市民文化会館大ホール

(1)名水紹介 13時30分～14時

①源兵衛川 ②柿田川

(2)基調講演 14時～15時30分

①「街をつなぐ」湧水とまちづくり

講師：小山真人氏（静岡大学教授）

②「命をつなぐ」水環境及び水中生物

講師：加藤英明氏（静岡大学准教授）

③「次世代につなぐ」湧水を引き継ぐことの必要性

講師：宮西達也氏（絵本作家）

(3)パネルディスカッション 15時50分～16時20分

テーマ：湧水を活用したまちづくり

パネリスト：宮西達也氏、須藤秀忠氏（富士宮市長）

関義弘氏（清水町長）、豊岡武士（三島市長）

三島市長

〒411-0035 三島市大宮町2-14-20

豊岡たけし後援会事務所

TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159

E-mail: toyotake@mail.wbs.ne.jp

ホームページ

http://www.toyooka-takeshi.jp/

三島駅南口東街区再開発事業の進捗

三島駅南口東街区再開発事業については、令和2年11月に都市計画の決定・変更が行われ、令和4年5月には、三島駅南口東街区A地区市街地再開発組合の設立が認可されました。この間、市では、都市計画の内容を踏まえ事業関係者とともに事業内容の検討を重ねてきました。令和3年3月と10月、令和4年6月にも、事業の進捗や市の取り組みなどをまとめ、詳細を市民の皆様にお知らせしてきましたが、本年6月新たに、現在の進捗状況についての資料を公開しました。

三島駅南口東街区再開発事業 事業の進捗状況について(2023年6月)

【公開された資料の内容】

- ・ 事業概要と経過
- ・ 事業の検討状況
- ・ 想定スケジュール等 (以下、ホームページより抜粋)

【想定スケジュール等】

組合設立の認可後、権利変換計画の作成に着手し、これまでに「土地調書・物件調書の作成」「権利の変換を希望しない旨の申出」「従前資産の価額の決定(評価基準日)」まで作業が進められています。

現在は「従後資産の概算額の算定」の段階で、従前資産に対応する新しい資産の概算額を算定しているところです。工事費の高騰の影響への対応等のためスケジュールが見直され、本年秋頃には、最後のステップである権利変換計画について県知事の認可を受け、年度内に事業区域内の建物等の除却工事や建築工事に着手、令和9年度の竣工を目指します。

再開発事業と並行して、再開発事業地南側及び東側の都市計画道路の両側において無電柱化事業を進め、防災性や安全性の向上と景観に配慮した美しい街並みの形成を図るとともに、事業区域内の市道については、拡幅と不要となる市道の廃止が予定されています。

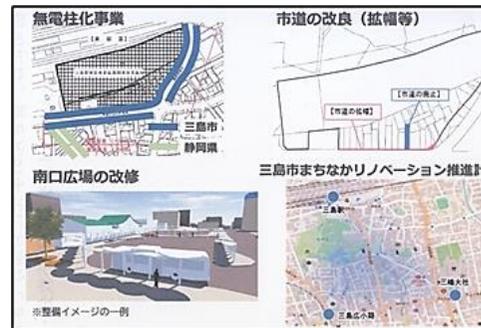
また、交通結節点・にぎわいの拠点として三島駅南口駅前広場をより快適な空間とするための改修計画を検討しており、併せて、三島市まちなかリノベーション推進計画に基づき、官民連携により、三島駅、三島広小路、三嶋大社の三角形で結んだエリアとその周辺の活性化を図っていく予定となっています。

【導入される機能等の検討】

事業区域は西側の駅前広場と東側の道路の高低差を生かして歩行者と自動車の動線を分離し歩行者デッキは人々が集い、憩う空間づくりを目指しています。

各フロアに導入される機能については、あくまでもイメージとして検討が進められています。

1階部分の道路に面した店舗は、専門性の高い小売店やサービス業を、駅前広場に面したエリアは、駅利用者を引き寄せる三島らしさを感じることができる土産物などの物販や飲食のほか、観光案内機能の導入も検討されています。歩行者デッキ沿いに広がる店舗は、毎日を支えるデイリーユースゾーンとしてスーパーマーケットやドラッグストア、小売店舗などを導入する他、保育園や、保育園と親和性の高い子育て関連機能導入の検討が進められています。また、線路側中央の建物4階を医療フロアとして三島市医師会のご意見を伺いながら、高機能健診センター等地域医療の向上につながる機能の導入を検討しているところです。



組合設立時の事業費等

(単位: 億円)

| | | | | |
|------|-----------|--------|------|----|
| 209 | 保留戻処分金 等 | 125 | その他 | |
| | 再開発事業費補助金 | 84 | 市負担分 | 28 |
| 総事業費 | 収入 | うち、市負担 | 9 | |

※整備イメージの一部

事業費の動向など

- ・ 工事費を含めた事業収支について、再開発組合で精査を行っている
- ・ 工事費の上昇が続いており、ECI方式を活用する中で、慎重な確認が行われている
- ・ 国では工事費の高騰に対する新たな支援制度を設けている